

## 4 防災協力の推進

### 4-1 国際連合との協力

アジア防災センターは、内閣府や地元兵庫県などの支援のもと、国連人道問題調整事務所（OCHA）神戸を誘致し、緊密な協力体制をとっているほか、国連国際防災戦略活動（ISDR）のタスクフォースメンバーとしてアジア地域の中心的役割を担うなど、国連諸機関との協力・連携を積極的に深めている。

#### 4-1-1 国連人道問題調整事務所（OCHA）神戸共同プロジェクト

##### 4-1-1-1 「総合的災害リスクマネジメント」アジア地域協議会

国連 OCHA とアジア防災センターの協力プロジェクトとして、2000 年 2 月に OCHA 神戸が開設されて以来、アジア防災センターと OCHA 神戸は、様々な情報交換を行いながら協力体制を築いてきた。

昨年度のネパールのカトマンズでの「自然災害分野地域協力会議」（2001 年 7 月）に引き続き、本年度は ADPC（アジア災害予防センター）と共催でタイのバンコクにおいて、第 2 回目となる「総合的災害リスクマネジメントアジア地域協議会」を 2002 年 6 月 12-14 日に開催した。ADB、ADPC、ASEAN 基金、DIPECHO、EMA、ESCAP、ICIMOD、IDRM、IFRC、ISDR、JICA、MRC、OFDA-USAID、UNDMTP、UNDP-Nepal、UNICEF-Bangkok、UN-OCHA、WFP-Bangkok、WHO 西太平洋事務所などの自然災害分野で活動している多数の機関が参加した。（表 4-1-1-1）

- 第 1 回会議では当会議の目的を、
- (1) 自然災害分野における地域協力を強化する
  - (2) 自然災害に関する計画や経験を共有するために、地域機関や国際機関の地域事務所に対して情報交換の場を提供する
  - (3) 地域協力における将来的なヴィジョンを共有するとした。



図 4-1-1-1 ワークショップの様相

今回の第 2 回会議では、第 1 回会議を踏まえ、

- (1) カトマンズ会議での提案の進捗の評価
- (2) 「総合的災害リスクマネジメント政策 (TDRM)」のコンセプトについての議論
- (3) TDRM の普及・啓発の手法
- (4) フォローアップ活動の計画
- (5) 連携強化の方法

を目的として開催し、下記の議論がなされた。

(1) カトマンズ会議での提案の進捗の評価

- ① 「包括的な災害管理の必要性」は「TDRM コンセプト」に発展した。
- ② 防災関連機関の「Who is doing What」プロジェクト提案については機関、災害種別ごとにネパールとバングラデッシュで Inventory が完成し、フィリピンで実施中である。
- ③ 防災イベントカレンダーを Web サイトに掲載する提案については、ADRC が実施している。
- ④ 協議会の継続的实施については、第 2 回をバンコクで実施、第 3 回を 2003 年第 2 四半期にフィリピンで開催することとなった。

(2) 「総合的災害リスクマネジメント政策 (TDRM)」のコンセプトについて

TDRM のコンセプトについてアジア防災センター、OCHA 神戸から下記を提示した。

**TDRM 政策の 3 つの目標**

- ① 災害サイクルの異なるフェイズの利害やギャップに包括的、総合的に対処する。
- ② 特に認識、災害管理および軽減についての災害対応能力の向上により、災害発生に効果的に回避、軽減、準備する。
- ③ 様々なレベル、次元、関連機関およびコミュニティの参画による災害軽減と対応のための協力・連携の促進

**TDRM 政策の 5 つの要素**

- ① 災害軽減と対応分野における様々なレベル、次元、関連機関の協力・連携の追及
- ② ハザードマップや脆弱性・リスク評価により災害要因を包括的な視野で理解する

- ③ 関係者の協力と統合のための災害リスク情報の開発と利用
- ④ 効果的な防災と災害対応を可能とする環境の確立
- ⑤ リスクマネジメント手法の防災への適用

これに対し参加者から、コンセプトをより明確にするとともに、これに基づき

- ① 国ごとに TDRM の必要事項のチェックリストづくり
- ② 教訓(Best Practice)の紹介
- ③ TDRM の普及と関係機関の連携
- ④ パイロットプロジェクトの実施

していくことの必要性について提案があった。

### (3) 地域連携のための行動

アジア地域での協力を持続していくために下記の行動が必要とされた。

- ① TDRM のための人材育成
- ② 教訓の紹介(文書化)
- ③ 実践的手法に必要なチェックリスト作成
- ④ ADRC や ADPC の WebSite を通じた情報共有

フォローアップ活動として、引き続き第 3 回会議を 2003 年度にフィリピンのマニラにおいて開催することとなった。

表 4-1-1-1 出席者

氏名	役職	機関
Dr. Ruben Umaly	Executive Director	ASEAN Foundation
Mr. Thomas Brennan	SR. Regional Advisor	Office of Foreign Disaster Assistance (USAID)
Mr. Thomas Dolan	Regional Advisor	Office of Foreign Disaster Assistance (USAID)
Dr. Michael Emst	AAAS Fellow	Office of Foreign Disaster Assistance (USAID), Dhaka
Mr. Michael Tarrant	Assistant Director, Reseach Management	Emergency Management Australia
Mr. Li Tianchi	Hazard Mitigation Specialist	International Centre for Integrated Mountain Development (ICIMOD)
Mr. Lieven Geerinck	Navigation Programme Mnager	Mekong River Commission (MRC)
Ms. Karin Michotte	Technical Assistant	DIPECHO (South East Asia)
Mr. Suvit Yodmani	Executive Director	ADPC

氏名	役職	機関
Mr. David Hollister	Deputy Executive Director	ADPC
Col. Brian Ward	UN DMTP	ADPC
Mr. Kamal Kishore	Director, Information, Research and Network Support	ADPC
Mr. Robin Willison	Director, Technical Service	ADPC
Mr. N.M.S.I. Arambepola	Deputy Program Manager	ADPC
Ms. Lolita Garcia	Program Manager	ADPC
Mr. Aloysius J. Rego	Director, Planning, Development & Partnerships	ADPC
Mr. Satoru Nishikawa	Executive Director	ADRC
Mr. Fumiaki Yoshimura	Senior Researcher	ADRC
Dr. Tomohiko Hatori	Senior Researcher	ADRC
Mr. Kazuyuki Yoshinaga	Administrative Manager	ADRC
Mr. Nick Russell	Head of Delegation	IFRC, Lao
Mr. Masayuki Watanabe	Advisor to the President	JICA
Manny de Guzman	Vice President & Chief Executive Officer	Alliance for Emergency Response and Training
Dr. Patrick Safran	Planning and Policy Officer	ADB
Mr. Teow Choo Ti	Senior Food Systems Economist	Regional Office for Asia and the Pacific, FAO
Mr. Joan Fleuren	Senior Programme Advisor	WFP Bangkok
Mr. Le Huu Ti	Economia Affairs Officer	ESCAP
Mr. Yoshihiro Takashima	Regional Coordinator	Emergency and Humanitarian Action, Regional Office for the Western Pacific, WHO
Mr. Andrew Maskrey	Chief of Disaster Reduction and Recovery Cluster	UNDP
Mr. Rodney Hatfiels	Deputy Regional Director	UNICEF East Asia and Pacific Regional Office in Bangkok
Mr. Salvano Briceno	Director	ISDR
Ms. Esly Sutyoko	Disaster Response Officer	OCHA Indonesia
Mr. Opia Mensah Kumah	Chief Advocacy, External Relations and Information Management Branch	OCHA New York

氏名	役職	機関
Feng Min Kan	Regional Disaster Response Advisor	OCHA Asian Unit
Ms. Fainula Rodriguez	Deputy Executive Officer	IDRM
Mr. Ingemar Anderson	Head of Regional Disaster Management Unit	IFRC
Mr. Ian Wilderspin	Regional Disaster Preparedness Coordinator	IFRC
Mr. Pepe Selmela	Regional Response Preparedness Coordinator	IFRC
Mr. James Sian	Manager of Disaster Management Unit, Philippines National Red Cross	IFRC Regional Disaster Management Team
Dr. Selva Jothi	Manager of Disaster Management Unit, Malaysia National Red Crescent	IFRC Regional Disaster Management Team
Mr. Muniandy	Manager of Disaster Management Unit, Malaysia National Red Crescent	IFRC Regional Disaster Management Team

#### 4-1-1-2 国連災害評価調整(UNDAC)チーム養成トレーニングコース

アジア防災センターは国連人道問題調整事務所と共催（内閣府・外務省後援、兵庫県・JICA 兵庫国際センター支援）で「国連災害評価調整(UNDAC)チーム養成トレーニングコース」（2003 年 3 月 16 日(日)～28 日(金)）を兵庫県神戸市において実施した。

UNDAC は災害被災国の要請により派遣される防災専門家で、被災国が必要とする支援について評価し、被災国を支援するチームである。

UNDAC チーム要員となるためには、2 週間の養成コーストレーニングが義務付けられており、今回のコースは、自然災害の多発するアジア地域における災害対応能力向上のために、アジア・太平洋地域での UNDAC 要員の養成を目的として実施したものである。

アジア太平洋地域の 14 カ国の政府、8 つの国際機関から 31 名の参加のもと、コースでは、防災専門家と OCHA スタッフ相互の経験の議論を通し、チームの任務に直接関連する技術や手法を学ぶとともに、ストレスの対処、チームワーク等についても研修した。

図 4-2-1-1 UNDAC シミュレーション訓練の様様(兵庫県災害対策センターにて)



(1) トレーニングのプログラム

Time	3/16 (日)	3/17 (月)	3/18 (火)	3/19 (水)	3/20 (木)	3/21 (金)
0700 - 0830	朝 食					
0900 - 0945		公式開講式	LEMAの構造	国連の安全システム ミッションにおける 個人の安全保障 (講義)	到着時/行動時 の計画  (グループ発表)	評価ミッション計画  (グループ発表)
0945 - 1030		JICAの役割 と活動 (講義)	(講義)			
1030 - 1100		休 憩				
1100 - 1145		国連の人道問題 システム及び 緊急時における OCHAの調整・権限	緊急対応における 国連機関と 国連カントリーチーム の役割 (講義)	緊急時における 調整活動  (キーワード 演習)	評価手法  (講義)	緊急出動時の 情報管理  (講義)
1145 - 1230						
1230 - 1400	昼 食					
1400 - 1445	開校式	UNDACの概 念と手法	UNDACの警 報発令と 動員に関する 手続き	出動要請  出動時任務規 定	部門別評価手 法	レポートの書 き方
1445 - 1530	コース説明等	(講義)	(講義)	到着時/行動時 の計画 (講 義)	範囲の基準  (講義)	(講義)
1530 - 1600	休 憩					
1600 - 1645	UNDACミッ ションのサイ クル	UNDACチー ムが始動 するための要 件	緊急ミッショ ンの ための健康管 理	到着時/行動 時の計画 準備	評価ミッショ ン計画	レポート演習  (グループ演 習)
1645 - 1730	緊急事態とは (グループ演 習)	ミッションの ための 個人の準備		(グループ演 習)	(グループ演 習)	第一週目の評 価会
1730 - 1900	グループ演習 評価会	自 由 時 間				
1900 - 2030	夕 食					
2030 - 2115		紛争解決	アジア防災セ ンターの 役割と活動 (講義)		チームの機能  (講義・グル ープ評価)	自由時間
2115 - 2200		複雑な緊急事 態				

Time	3 / 23 (日)	3 / 24 (月)	3 / 25 (火)	3 / 26 (水)	3 / 27 (木)	3 / 28 (金)	
0700 - 0830	朝 食						
0900 - 0945		状況レポートの発表  (グループ演習)	緊急時における報道機関の扱いに関する国連の政策 (報道訓練)	環境災害におけるUNDACチームの活動 (講義)	実地訓練 (シミュレーション)	ストレス管理 (講義)	
0945 - 1030						休憩	
1030 - 1100		休 憩				休憩	
1100 - 1145		双方向緊急対応ツール	緊急対応における軍隊の活用	救援支援統一アピール (講義)		UNDACチーム フィールドバック手法	
1145 - 1230		人と防災未来センター訪問	IHP 支援モジュール	UNDACチームの撤収について		コース評価会 終了	
1230 - 1400		昼 食				昼 食	
1400 - 1445		研修再開	USAR任務との調整	電話設備 (Round Robin訓練)		OSOCC演習 (講義)	解散
1445 - 1530							
1530 - 1600		グループ演習	休 憩			技術的報告	
1600 - 1645			OSOCC 緊急時の調整プラットフォーム (演習)	無線によるコミュニケーション (Round Robin訓練)			地図とGPS (Round Robin訓練)
1645 - 1730							
1730 - 1900	自 由 時 間						
1900 - 2030	夕 食						
2030 - 2115				実地訓練説明			
2115 - 2200							

(2) トレーニングの内容

このトレーニングは、主に以下の三分野に関する技術及び知識の習得を目的としている。

1) 国際的人道問題対応システム

OCHA の国際支援調整役としての役割及びその組織を理解し、主な UNDAC チームのパートナーとなる組織の緊急時における活動について学ぶ。また、様々なタイプの災害や国際的災害対応の流れとしくみ、各国政府やその他の様々な機関との連携、協力体制について知識を増やす。



## 2) 個人技術の訓練・習得

UNDAC チームメンバーとして派遣されるに当たり、要求されるチームメンバーとしての役割、派遣される国の基本的な治安面に関する知識とそれにどのように対応すべきかを学ぶ。さらに、ミッションに必要不可欠となる道具の確認や、GPS、地図、コンパス、衛星電話等のミッションで役立つと考えられる道具の使い方を習得する。さらに、ストレスへの対処の仕方、事前に取りべきべき予防接種への知識、またメディア対応や報告の仕方なども学ぶ。

## 3) UNDAC 方法論

ハンドブックの使い方と中身を熟知し、UNDAC 派遣が決定するまでの流れを学び、ミッションの目的、活動計画の準備など、派遣決定から 24 時間以内に準備しなければならないことを実習を通して学ぶ。派遣先でのアセスメントのやり方、報告書の書き方を習得し、チームワークの重要性を認識する。ミッションの模擬訓練を通して、ミッションにおけるチームワークの確立、情報伝達・管理、アセスメントのやり方、報告等の一連の流れを体験する。

各セッションの主な内容は以下の通りである。

### (1) UNDAC Mission Cycle

UNDAC チームの派遣決定まで、本部でどのような手続きがとられ、またミッションが終了した際は、本部へどのような報告がなされるか等の一連の流れを学ぶ。

### (2) Emergency Environment (Exercise)

様々なタイプの自然災害及び紛争に関する Situation Report（状況報告書）を参考にしながら、レポートに含むべき重要な情報の見極めが可能となるよう訓練する。

### (3) The UN Humanitarian System & OCHA Coordination

国連組織の災害対応や防災のしくみ、OCHA の役割、その他にどのような国連機関が災害対応に関わっているのかを学ぶ。

### (4) The UNDAC Concept and Methodology

UNDAC チームの主な役割の概略をつかみ、OCHA Geneva の FCSS (Field Coordination Support Section) の UNDAC チーム支援体制、これまでの UNDAC 派遣の事例等について検証する。

**(5) Triggering factors (Exercise)**

自然災害や紛争が起こった際に、UNDAC 派遣の是非を決めるにあたって、何を基準に判断されるかをグループで予想し、それをもとに全員で議論する。

**(6) Personal Readiness**

チェックリストの確認、医療面及び心理的注意、その他、飛行機や日当の手配など、UNDAC メンバーとして派遣される前に、個人で準備し、心得ておかなければならないことを学ぶ。

**(7) The Role of UN Agencies and Other Humanitarian Partners in Emergencies**

OCHA と協力して人道問題を取り扱う国連機関に関する知識を深める。(WFP, UNHCR, UNDP, WHO, UNICEF)

**(8) UNDAC Alert and Mobilisation Procedure**

チーム派遣の決定、メンバー選定、実際の派遣に至るまでの一連の流れを学ぶ。

**(9) Personal Health Readiness for Emergency Mission**

医療面では、どのような準備(予防接種など)が必要かについての知識を増やす。

**(10) Personal Safety and Security/ the UN Security System**

国連の治安システム(各国の治安面確認の仕方)や各国の治安状況のランク付け等を認識し、派遣される国に関する治安問題の確認及び注意が不可欠であることを学ぶ。

**(11) Coordination in Emergencies**

ハンドブックを使用し、ミッションに関する必要事項の確認を行い、緊急事態の際に、なぜ調整が必要か、効果的な調整を行なうための重要な要素は何か、初期段階に必要な調整とは何かを考察する。さらに、UNDAC チームの重要な調整業務、調整の枠組み、活動計画 (Plan of Action/PoA) の作成方法を習得する。

**(12) Deployment Terms of Reference/Plan of Arrival/Action**

チームの活動計画作成の目的、必須項目 (状況、派遣の目的、派遣先の国連・政府の体制、治安面、詳細の業務内容等)、作成の仕方等を学び、各グループが実際のミッションに派遣されたと想定して、活動計画を作成し、発表する。

**(13) Assessment Methodology/ Sectoral Assessment & the Sphere standards**

ミッションの重要な目的の一つである状況アセスメントを実施する際に、考慮すべき点、情報収集のやり方、レポートの書き方等を学ぶ。

**(14) Assessment Mission Planning**

実際のミッションを想定し、各グループでアセスメント計画を作成し、発表する。計画書に必須事項のアセスメントの目的、詳細なスケジュール、アセスメントを行なう項目（セキュリティ、食糧、水、医療、教育など）、ミーティング日程、必要な後方支援、予想される困難状況、アセスメント後の必要事項等をチームで協議の上、実際の計画を練る訓練を行なう。

**(15) Information Management in Emergencies**

情報管理の重要性に着目し、偏見をもたず、どのような情報源をもとに状況判断をしてより正確な情報を伝達していくかを学ぶ。

**(16) OSOCC a Coordination Platform in Emergencies**

OSOCC (On-site Operations Coordination Center) の役割、目的、しくみを学び、その重要性を確認する。

**(17) Team Functioning**

各グループのチームワーク向上を目指し、これまでのグループでの活動の反省点、良かった点、悪かった点等を話し合い、良いチームワークを生み出すには何が必要なのか、リーダーシップとは何かを学ぶ。

**(18) Reporting Methodology**

現場状況を報告するためのレポート (Situation Report) のフォーマット、内容、ミッション中にその情報をどのような流れで、本部に伝えるのかを習得する。

**(19) UN Media Policy Dealing with the Media in Emergencies**

現場でメディアと良い関係を保つことがいかに重要かを認識し、インタビューを受ける際の注意事項などを実際のインタビュー訓練を通して体験する。

**(20) Local Emergency Management Authority**

フィリピンからゲストスピーカーを迎え、フィリピン政府の災害対応と防災への取り

組み、組織及び管理体制を学ぶ。

(21) **Bilateral Emergency Response Tools**

ECHO (European Commission Humanitarian Aid Office) 及び AusAID (Australian Agency for International Development) からの参加者によるプレゼンテーションを通して、その組織及び活動について知識を得る。

(22) **Interagency Appeal's**

OCHA Geneva の CAP (Consolidated Appeal Process) 担当部所属のスタッフによるプレゼンテーションを通して、CAP の内容及びその過程を学ぶ。

(23) **UNDAC Equipment System/ IHP (International Humanitarian Partnership)**

**Support Module/Coordination in USAR (Urban Search and Rescue)**

**Operations** チーム派遣の際にあらかじめ準備される備品や設備、SAR チームの活動、SAR・IHP と UNDAC チームとの連携及び協力について学ぶ。

(24) **The Military in Emergency Response**

OCHA が所有する軍用設備（ヘリコプター、シェルター等）支援がどのような緊急事態に可能で、いかなる支援が可能であるかを学ぶ。

(25) **Telecomm's Equipment**

衛星電話等の設置、及びそれを用いての Email 送受信の仕方を習得する。

(26) **Radio Communication**

遠距離にいるスタッフとのコミュニケーションを可能にするトランシーバーの使用方法を習得する。

(27) **OSOCC Exercise**

OSOCC を被災地に設置すると仮定して、備品の設置や配置を実際に行ない、OSOCC がより効果的に機能するための課題と注意点を検証する。

(28) **Map's and GPS (Global Positioning System)**

GPS の使い方を習得する。

**(29) Preparation/Presentation of Situation Report**

アセスメントの結果を本部に報告するための、状況レポートのフォーマットや内容について学び、実際に各チームでレポートをまとめ、発表する。

**(30) UNDAC in Environmental Disasters**

環境災害の定義、環境災害時の OCHA 及び UNDAC チームの役割と活動、アセスメントのやり方（どのような資料を参考にするか等）を学ぶ。

**(31) UNDAC Hand over and Exit Strategy**

ミッション終了の際に、どのような報告、資料等をどこに提出すべきか、及び持ち込んだコンピューターやその他の備品をどのように処理すべきかについて学ぶ。

**(32) Exercise SIMEX (Simulation Exercise)**

これまで学習してきたことを基礎として、実際に地震が起きた際にチームが派遣されたと仮定して、事前準備等を含めて、空港でのミーティングから始まり、アセスメント、情報交換、レポート作成等一連のミッションの模擬訓練を行なう。

**(33) Stress Management**

心理的ストレスを引き起こす要因を分析し、それにいかに対処すべきかを学ぶ。

**(34) UNDAC Debriefing Methodology**

チームの活動が終了した際の最終報告の流れと、どのような情報が含まれるべきかを学ぶ。

**(3) UNDAC 研修の成果**

今回の研修を終えた参加者は、今後メンバー登録を行い、UNDAC メンバーとして下記のようなプロセスの災害評価調整活動を行い、アジア地域の災害対応能力の向上に寄与することとなる。

**【災害時】**

- ・ 大規模災害発生直後に、OCHA から参加国政府等を通じて登録メンバーにアラートメッセージの送付（対応可能メンバーの把握）
- ・ 被災国政府・国連駐在調整官からの支援要請を受け、メンバーを現地派遣（発災後半日～24 時間以内での到着が目標）

- ・ 国際緊急援助チーム受け入れ空港において、レセプションセンターを設置し、各国チームとのコンタクトを確立
- ・ 被災国政府・国連機関等との情報交換
- ・ 被災地における簡易な災害アセスメントの実施
- ・ 各種援助機関の活動状況に関する情報交換・支援活動の調整、必要に応じ現地活動調整本部（OSOCC）設立
- ・ 要請に応じ、国連諸機関の援助プログラムをまとめた国際アピールのとりまとめの支援
- ・ 初期援助段階から復旧・復興段階への円滑な受け渡し 等

## 【派遣後】

- ・ OCHA 本部におけるブリーフィング、国際機関等への活動報告 等

## （４）参加者リスト

#	国名	Mr. Ms.	名前	所属	役職
<b>Participants (31)</b>					
1	Australia (1)	Mr.	Geoffrey Arthur Miller	Australian Agency for International Development	Emergency Response Coordinator
2	Bangladesh (2)	Ms.	Mohsena Feerdausi	Disaster Management Bureau	Deputy Director
3		Mr.	Ashraful Islam	Disaster Management Bureau	Communication Media Specialist
4	Cambodia (1)	Mr.	Ros Sovann	National Committee for Disaster Management Council of Minister Royal Government of Cambodia	Under Director General Advisor to the First Vice President
5	China (2)	Mr.	Xun Guo	China Seismological Bureau Institute of Engineering Mechanics China Seismological Bureau	Professor
6		Mr.	Jiandong Xu	China Seismological Bureau Institute of Engineering Mechanics China Seismological Bureau	Associate Professor
7	India (1)	Mr.	Diwaker Medan	National Disaster Management Division	
8	Indonesia (1)	Mr.	Noer Isrodin Muchlisin	National Search&Rescue Agency	
9	Japan (5)	Mr.	Katsunari Harada	Japan International Cooperation Agency	Coordinator Disaster Assistance Division Secretariat of Japan Disaster Relief Team
10		Mr.	Satoru Nishikawa	Asian Disaster Reduction Center	Executive Director
11		Mr.	Hitoshi Otomo	Japan International Cooperation Agency	Coordinator Disaster Assistance Division Secretariat of Japan Disaster Relief Team
12		Mr.	Tatsuo Ono	Japan International Cooperation Agency	Coordinator Disaster Assistance Division Secretariat of Japan Disaster Relief Team
13		Mr.	Singo Nagamatsu	Disaster Reduction and Human Renovation Institution	Research Scientist, Economist

#	国名	Mr. Ms.	名前	所属	役職
14	Kazakhstan (1)	Ms.	Laura Lukpanova	Emergency Agency	Head of International Cooperation Department
15	Kyrgyzstan (2)	Mr.	Azmat Mambetov	Civil Staff of Ministry of Ecology and Emergency Situation	Assistant
16		Mr.	Alexey Skrynnikov	Civil Staff of Ministry of Ecology and Emergency Situation	Senior Officer of Operation Section
17	Mongolia (2)	Mr.	Ganbold Shagdar	The State Board for Civil Defense of Mongolia	Officer Responsible for External Relation and Cooperation
18		Mr.	Khuujii Urnukh	The State Board for Civil Defense of Mongolia	Senior Officer of Training and Disaster Awareness Division
19	Papua New Guinea (1)	Mr.	Esau Maman	PNG Fire Service	Superintendent
20	Philippines (2)	Mr.	Ronaldo George R. Reario	Office of Civil Defense	Military Assistant for Operations and Special Projects
21		Ms.	Olivia C. Basco	Office of Civil Defense	Chief, Recovery and Rehabilitation Section Operations Division
22	Singapore	Mr.	Ltc. Tay Guan Sze	Singapore Armed Forces	Communication Officer School of Military Medicine
23	South Pacific (1)	Mr.	Robert Alfred Hill (Tony)	Samoa Police Fire & Prisons	Captain
24	ECHO	Mr.	Alain Robyns (Belgian)	European Commission Humanitarian Aid Office	Technical Assistant
25	WFP	Ms.	Anette Haller	World Food Organization, Bangkok	Regional Programme Advisor
26	WHO (2)	Mr.	Umesh Kumar Kattel (Nepali)	World Health Organization Philippines	
27	WHO	Dr. Mr.	Yoshihiro Takashima (Japanese)	World Health Organization Philippines	Regional Coordinator Emergency and Humanitarian Action
28	OCHA	Ms.	Aimee Wielechowski	OCHA Geneva	
29	OCHA	Mr.	Yvonne Rademacher	OCHA New York	
30	OCHA	Mr.	Marcus Mirino	OCHA Indonesia	
31	OCHA	Ms.	Takako Izumi	OCHA Kobe	
<b>Organising Team (5)</b>					
1	OCHA	Mr.	Arjun Katoch	OCHA Geneva	Chief Field Coordination Support Section (FCSS)
2	OCHA	Mr.	Jesper Lund	OCHA Geneva	Course Director Humanitarian Officer (FCSS)
3	OCHA	Ms.	Elena Dumitru	OCHA Geneva	Course Assistant (FCSS)
4	OCHA	Mr.	Edward Pearn	OCHA Geneva	OCHA Consultant -Simex
5	OCHA	Mr.	Stephen Webster	OCHA	OCHA Consultant

#	国名	Mr. Ms.	名前	所属	役職
<b>Resource Person (10)</b>					
1	OCHA	Mr.	Rudi Muller	Response Coordination Branch Geneva	
2	OCHA	Mr.	Soichi Nakajima	Response Coordination Branch Geneva	
3	OCHA	Mr.	Charles Higgins	OCHA Pacific	
4	Finland	Mr.	Jaako Niskala	Ministry of Interior	
5	India	Dr. Ms.	Marschang Adelheid (German)	International Federation Red Cross & Red Crescent Societies (IFRC India)	Senior Health Delegate
6	India	Mr.	Manvendra Singh	Media Consultant	
7	Norway	Ms.	Jan Olsson	The Norwegian Director for Civil Defense and Planning	
8	Norway	Mr.	John Schjetne	The Norwegian Director for Civil Defense and Planning	
9	Philippines	Mr.	Melchor P. Rosales	Office of Civil Defense	Administrator
10	Sweden	Mr.	Johnny Johansson	Swedish Rescue Services Agency	
<b>Local Organizer (12)</b>					
1	OCHA Kobe	Mr.	Terje Scavdal	Regional Disaster Response Adviser, Head of Kobe	
2	OCHA Kobe	Ms.	Aya Okumi		
3	OCHA Kobe	Mr.	Takeshi Tsunozaiki	Intern	
4	ADRC	Mr.	Fumiaki Yoshimura	Senior Researcher,	
5	ADRC	Mr.	Tomohiko Hatori	Senior Researcher	
6	ADRC	Mr.	Etsuko Tsunozaiki	Senior Researcher	
7	ADRC	Mr.	Masanori Araki	Researcher	
8	ADRC	Ms.	Akiko Nakamura	Researcher	
9	ADRC	Ms.	Miki Kodama	Researcher	
10	ADRC	Mr.	Kazuyuki Yoshinaga	Administrative Manager	
11	ADRC	Ms.	Sonoko Tanaka	Administrator	
12	ADRC	Ms.	Maki Yoshida		